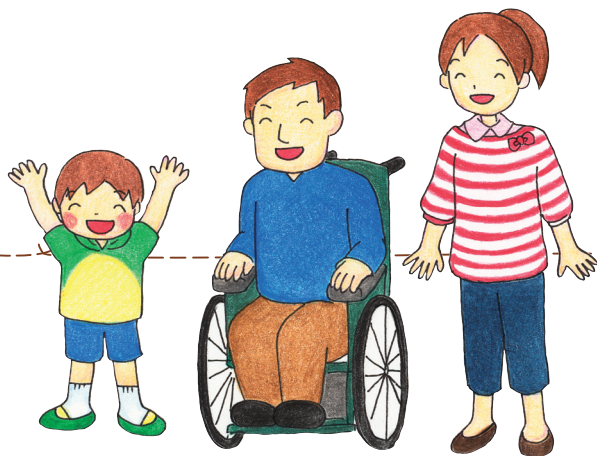


4 障害者



障害のある人が日常生活や社会生活を営む上で、いまだに働く場所の確保や情報の収集・利活用等に際して様々な障壁しょうへきがあり、不自由、不利益また又は困難な状態へんけんにおかれています。また、障害や障害のある人に対する誤った認識や偏見から生じる差別も存在しています。

私たち一人ひとりが障害や障害のある人に対する正しい理解を深めるとともに、障害のある人が主体性・自主性をもって社会生活を送ることができるような社会づくりが必要です。

共に生きる社会を目指して

障害のある人もない人も同じように、社会の一員として社会活動に参加し、自立して生活ができる社会を築いていこうという考え方を「ノーマライゼーション」といいます。

このノーマライゼーションの実現に向け、広島県では、「広島県障害者プラン」などに基づいて、積極的に障害福祉施策ふくし しぎくを展開しています。

しかし、障害のある人が日常生活や社会生活を営む上では、いまだに多くのバリアしょうへき（障壁）があり、様々な面で、不自由、不利益また又は困難な状況しやうきやうにおかれています。

物理的バリア

建物にエレベーターがないなど、物理的に存在すること

制度的バリア

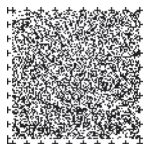
障害を理由に、資格取得などが制限されていること

情報のバリア

音声案内・手話通訳などの欠如や不足のため、情報の収集や伝達が阻害されること

心のバリア

障害や障害のある人に対する無理解、偏見や差別など私たちの意識の中にあること



障害のある人は特別な存在ではなく、同じ社会の構成員です。障害による差別や偏見へんけんを受ける理由はなく、不当に不利益を受けることがあってもいけません。

障害や障害のある人に対する正しい理解を深めていくとともに、障害のある人を取り巻く様々なバリア（障壁）を解消することにより、ノーマライゼーションの実現を目指しましょう。

障害や障害のある人に対する正しい理解

障害のある人といっても、生まれたときから障害のある人、病気や事故で障害者になる人、老化がもたらす病気により障害者になる人など、その状況は様々です。

最近では障害の重度化・重複化、障害のある人の高齢化が進んでいます。また、高次脳機能障害、発達障害などのような、これまであまり知られていなかった障害もあります。

高次脳機能障害

脳卒中やケガなどにより脳が損傷し、その後遺症として、集中力が低下したり、新しいことを覚えられなくなったり、感情や行動の抑制がきかなくなったりして、日常生活や社会生活に支障をきたした状態をいいます。

しかし、外見から分かりにくいいため、周囲の人から誤解を受けたり、トラブルになることもあります。

【広島県高次脳機能センター】

電話:082-425-1455

〒739-0036 東広島市西条町田口295-3

- 治療からリハビリ・社会復帰までの支援
- 相談、情報提供 など

発達障害

部分的な脳機能の未発達や発達の偏りのある状態をいいます。強いこだわりやパターン化した行動があったり、コミュニケーションをとるのが苦手に対人関係を築いていくことができないなど社会生活に支障をきたします。

親のしつけや本人の生活の問題だと誤解され、周囲の人から冷たい視線を受けることがあります。

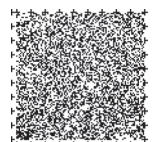
【広島県発達障害者支援センター】

電話:082-497-0131

〒739-0133 東広島市八本松米満461

- 相談・情報提供
- 発達支援、就労支援 など

障害のある人が感じている不便さや必要としている支援は、障害の特性や状態によって違います。私たち一人ひとりが千差万別であるように、障害のある人を「障害者」とひとくくりに考えるのではなく、一人ひとりすべて違うことをまず理解する必要があります。



4 障害者

障害者の自立と社会参加

ノーマライゼーションを実現し、障害のある人が自分らしく自立した生活を送るためには、地域生活に参加することと雇用の場が確保されることが必要です。障害のある人の地域生活への移行支援や就労支援とともに、企業や地域、そして私たち一人ひとりが障害のある人の自立や社会参加に理解を深めることが大切です。

【県の取組み】

障害者の地域生活の充実や就労の確保のため、福祉、企業、地域等の結び付きを強める取組み「あいサポートプロジェクト」を平成23(2011)年10月からスタートさせました。

また、障害者の雇用就労機会の拡大のため、各種制度の広報や事業を実施しています。

●「あいサポート運動」の実施

広島県 あいサポート運動 [検索](#)

県民の方に、○障害の内容・特性 ○障害のある人が困っていること ○配慮の仕方やちょっとした手助けの方法などを知っていただき、実践していただく運動

●「あいサポートひろしまフォーラム」等の開催

12月を広島県障害者福祉強調月間とするとともに、「あいサポートひろしまフォーラム」等を毎年開催することとしています。

4コマで知る!

障害者へのエチケット

障害のある人に対する日常でのエチケットについて紹介します。



障害のある人に対するエチケット

【障害のある人を見かけたら】

冷たい視線を送ったり、見て見ないふりをするのは避けてください。障害のある人の人格をありのままに尊重し、暖かく接してください。

【困っているのを見かけたら】

「何かお困りですか」と一声かけて、まず、その人が何をしてほしいか尋ねてください。できることがあればサポートをしましょう。

自分だけの判断で行動すると、親切のつもりがおせっかいになる可能性があります。本人の意思を尊重し、必要なサポートを心がけましょう。

